



4月14日(日)九鬼山ハイキングに行きました。場所は、山梨県。大月駅から富士急行線に乗り二つ目の田野倉駅から歩き始めます。場所が場所だけに、その山頂から眺める富士山の美しさには定評があります。

電車を降りた途端、のどかなゆったりとした時間の流れにすいこまれていきます。風もなく暖かな日、菜の花、たんぽぽ、チューリップなど春の花が迎えてくれました。山に入ると、新たに色づいた新鮮な緑、その中に散らばる花々。いやぁ、まさに「春爛漫」

植物に詳しい、石井アヤ子さんの指先を追いかけ、見て、触れ、採り、話を聴いているうちに山頂へ。途中、あまりハイカーには出会わなかったのですが、山頂は人だかり、さすが人気の山です。ところで、富士山は？ちょっと霞んでいるのですが、距離が近いから見えるはず！ガイドブックの写真と目で見える景色を重ねて富士山を探します。「あった！」ガイドブックの写真はこの景色！そして、ここに富士山が...ない...。春の霞がまさっているのです。富士山はなくても春がいっぱい！小野さんは、山頂で昼食後、昼寝をしていました。そんな雰囲気九鬼山ハイキングです。



高尾8:00 発甲府行はハイカーで満員

7時30分、JR八王子駅横浜線ホームには、小野勝彦さん、宮部忠和さん、宮部香与子さん、横山和明さん、石井金作さん、石井アヤ子さん、町田行弘の7名が集まりました。7時52分の中央線高尾行きに乗り、終点の高尾で甲府行き普通列車に乗り換えます。この電車には、2月の雪の日「昇仙峡」へ出かけた時にも乗りました。その時は空いていたのですが、今回はかなり混んでいます。しかも、ハイカーがたくさん。これほどハイカーが利用する電車だとは思いませんでしたが、甲府より手前の駅を起点とした日帰りハイキングに出かけるとしたら、この電車に乗るでしょう。高尾を出て、相模湖、藤野、そして上野原。上野原で大半のハイカーは降りて行きました。ここから、高尾・陣馬方面の山々へアプローチするのでしょう。高尾から45分ほどで大月到着。車内から、今年2回計画して、2回とも雨で中止となってしまった「岩殿山」がはっきり見えました。それほど高くはない大きな岩山です。今年中に登るぞ！



のどかな田舎の駅

大月で富士急行線に乗り換えて、二つ目の田野倉で降ります。時刻は9時10分。ここで降りたハイカーは私たちだけでした。小さな駅で周りにはお店など何もありません。駅を出て、国道139号線の手前の小道を左折し、民家の中を歩いて九鬼山へ向かいます。道なりに歩き、富士急行線の線路を渡り、突き当たりを右折して、林道に入ります。右側に小さな川が流れ、周りの緑が多くなり、砂利道の林道を包み込んでいきます。そして、緑の中にやまぶきが散らばります。石井アヤ子さんと



宮部香与子さんは早速、植物採集を始めました。植物に関心の薄い男性陣が先を行き、女性二人は最後尾。9時50分、林道は終わり、登山道に入ります。ここまでのゆるやかな上りでも、気温も上がってきて少し汗ばんできました。ここからは急勾配、ウインドブレーカーなどの上着を脱いで涼しい格好になって出発です。

春の山は植物の宝庫

大概の場合、登山道の入り口からしばらく急勾配で、次第に緩やかになります。もちろん、身体も歩くスピードもそれぞれの山に馴染んでいきますから、すぐに呼吸も楽になります。新鮮な緑に囲まれて春の山道を登って行くと、低かった周りの緑が消え、薄暗い林に変わります。ここが、札金峠で、猿橋方面、道志方面への分岐があります。九鬼山への標識に従い右方向に進みます。

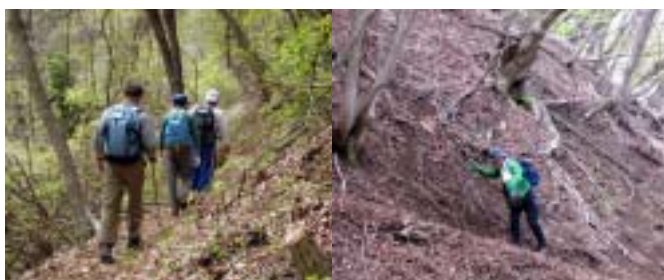
しばらく、新緑の中の心地よい尾根歩きが続きます。右下には、出発地点の田野倉の集落が確認でき、また、左方向に見える山々のところどころに山桜らしきピンク色が浮かんでいます。ここでも(いや、わりとずっとでした)女性達は植物の研究と実践、つまり、採集に熱中！

それぞれのご亭主は、次第に大きく膨らんでくるスーパーマーケットのビニール袋にあきれ顔？苦笑い？札金峠から約30分、ちょっとした





広場になっている「紺屋休場」に到着します。ここからは、右側の展望が開けていて、田野倉の町並み、富士急行線、その横を流れる川なども見ることができます。このあたりで心地よい尾根歩きは終わり、山の左側の斜面を上ることになります。今までとは違い、包み込むような緑は少なくなり、岩や木の根が露出した狭い道に変わります。この雰囲気には女性達の植物研究も一時中断、歩きに専念。



ここを登り切れば...

少々荒れた斜面歩きが終わり、再び緑が増えてきて、あと一息“岩場を越えれば山頂”という地点で一息いれます。ここも、猿橋方面への分岐になっていました。目指す山が近づいた証拠、上りが急になるのが見ただけでもわかります。大抵の場合、このように、山頂手前で急勾配になるもの、尾根歩きは目的地への移動、斜面歩きはアプローチ、そして、最後に山頂へのアタック！目線が上を向いてきます。斜面の上に空が見えると、“ここを登り切れば山頂”という期待で心が弾むのですが、裏切られることもありますから要注意！今回も、そんな雰囲気に騙された方、いませんか？ロープのはられたくさり場を越えて、空の面積がとても多くなり、空に包まれそうなそ



の瞬間、裏切られたことがわかりました。少し平らになった道が続いていました。そして、その先にまた、岩場があります。遠くから見ると、どうやって登るんだ？しかし、近づくとうまく登れるようになっているもの。



の。岩をクリアして、さらに急勾配が続き、さっきほど期待せずに登っていくと山頂到着。

富士山は？

あまり人に会わない静かな山と思っていたのに、山頂にはハイカーがたくさんいてみなさんランチタイムです。まだ、11時30分だというのに...！それより、富士山はどこ？ガイドブックを読むと、山頂から林を抜けて、西側斜面から富士山が望めるらしい。町田と宮部忠和さんと、西側斜面へ富士山を探しに行きます。山頂よりやや大きな広場があり、こちらでも多くのハイカーが食事を楽しんでいました。しかし、富士山はいません。富士山がきれいに見えているガイドブックの写真とまわりの景色を重ねていくと、その場所は確かにその通りあるのですが、富士山は霞で全く見えません。ああ、残念！我に返り、食事をする場所の確保に。どちらにしても混んでいますが、山頂よりはこちらのほうが空きスペースがあります。

山頂で昼寝

一度、山頂に戻り、みんなで記念撮影をして、西の斜面でお弁当を広げました。早速お湯を沸かしたり、もうみんな手慣れたものです。持って来たおかずを分け合ったりして楽しいひとときをのんびり過ごします。どこからか音楽が聞こえてきます。麓の町からスピーカーで流れてくるのかと思ったら、すぐ目の前でハイカーが尺八を吹いているのでした。見事な音色にみんな聞き入っています。さらにのんびりとした空気が漂います。そんな中、小野さんは仰向けになって気持ちよさそうにお昼寝。山の上で昼寝っていうのはなかなかできそうできないうものです。羨ましいというか“さすが”！だいたいゆっくり休憩をして、12時50分、小野さんを起こして下山開始。



植物採集に巻きこまれる男たち

下り始めると「こちらから登の方が大変そうですね」と誰かが言います。「たぶん、そんなことはないと思いますよ」視線の関係で、足下を見ていると自然にさらに前方の下の方が見えてしまうからなのでしょう。また、山頂からしばらくは急勾配なことが多く、そして、1時間以上休んだ身体もウォーミング



アップを必要としているでしょう。しかし、なんといっても下りの方が身体にかかる負担が大きいということを忘れてはいけません。踏み出した足には全体重がかかりますから、それをささえる膝の上の筋肉が疲れて踏ん張りがきかなくなって転倒なんてこともあります。ゆっくり小刻みに歩くことです。

10分ほど下ったところに「リニア見晴らし」があり、リニアモーターカーの実験線が見下ろせます。実際に走っているリニアモーターカーを見たかったのですが、どうもそんな雰囲気を感じませ



ん。日曜日はお休みのなのでしょう。ここで分岐があり、沢を下る道と、尾根を下る道に分かれます。尾根道の方が遠回りかもしれませんが安全で勾配がゆるやかなはず、尾根道を選びます。

緑に包まれる場所、林の中の茶色い道、景色の変化を堪能しながら、下って行くと再び春の花が多くなってきました。傾斜が緩やかになると、女性陣の植物採集が始まります。上りでは先に行ってしまった男性陣も下りでは協力的？一緒に土を掘ったり、片手にビニール袋を持っていたり。



えっ！...ゴミ？

山頂から約1時間、山道が終わり車道に出ました。民家の中をゆっくり歩き、川に出ると石井さんは“コゴミ”の採集。今度は食べることができる植物です。それにしても、いろいろとよくご存じ！翌日の夜、少し頂いたコゴミを野菜炒めに入れたところ、「おいしい！」「そう」「何これ？・・ミ？」「えっ？ゴミが入ってた？」「違うわよ！これはコゴミかって聞いたんじゃない」「...？そうだったかもしれない。てんぷらやアクを抜いてお浸しにするとおいしいって。昨日山へ行った時、石井さんが採ってそれをもたらったんだ」「山菜採集とかしたいね」ここから、禾生駅までは国道139号線を歩いて10分ほど。14時34分の直通快速で帰りました。



しばらくして、我が家に「山の植物」？みたいな本がありました。彼女が図書館から借りてきたのです。なんとなく目を通してただけで図書館に戻りました。その気（ちょっと本気）で実践しないとダメですね。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662
石井金作	194-0004	東京都町田市鶴間 1391-2 042-799-3575
石井アヤ子	194-0004	東京都町田市鶴間 1391-2 042-799-3575

